

Professional Engineer(PE)試験が日本で受けることができるようになり、PE試験に合格したが、社内にPEがおらず、PE登録のリファレンスをどう獲得するか悩んでおられる方も多いと思います。JSPEでは、そのような方への支援を行っており、以下にJSPE所属のPEがリファレンスを書くことができる例を示します。ただし、**リファレンスには申請者のgood character and reputationが求められており、以下の活動に参加により必ずリファレンスが得られるものではない**ことをお断りしておきます。

(1)JSPE主催セミナーに参加

JSPE主催セミナーには必ず、JSPE所属のPEが参加しております。単にセミナーに参加するだけでなく、PEと知り合いになり、**1年以上交流を深めることにより、申請者の技術的なレベル、倫理観などを知ってもらう**ことが重要になります。教育部会の鬼金分会では、プロジェクトマネジメントに関するセミナーコースを1年間開催し(4h×10回)、そこでProject Management Professional(PMP(R))の資格取得をめざして学習する過程から、申請者の技術的なレベル、倫理観などを判断して、リファレンスを書いた例があります。

(2)アドホックコミティへの参加

例えば、企画部会で開催している「H23アドホックコミティ」では、8名のPE会員と2名のPEN会員が参加し、「製品安全性に対し技術倫理をどう活用するか？」をテーマとして、各自が自宅にて欧米の「技術倫理」の教科書を読んで学習して、年度末に報告書を書くことを目標としている。遠隔地の場合は、このような活動で、**申請者の技術力や倫理観を示すことが可能**となります。

(3)JSPE活動への積極参加

JSPE活動に参加して、PE会員と知り合いになることができます。JSPEでは、会員部会、企画部会、教育部会、渉外部会、広報部会、総務部会で活動していますが、各部会ではボランティアで参加いただける部会を募集しております。東京周辺でしたら、直接参加できますが、遠隔地でも可能なボランティアはありますので、JSPEまでお問合せ下さい。

PEが社内にはいない、地方勤務であることを理由に、PE登録をあきらめることはありません。上記の(1)～(3)の例のような活動で、リファレンスを獲得している人もたくさんいます。ただ、接触する密度は低いので、1年ではなく2～3年程度のスパンで計画していただいたほうが良いと思います。JSPE活動では、①会員メール、②JSPEホームページ、③JSPEマガジン等で活動のご案内を行っておりますので、自分にあった活動に是非ご参加下さい。